

2・3月も役立つ講座がいろいろ！

シングルマザーの会

2月23日(木・祝) 13:30～15:00

場 所: 参画センター学習研修室 3

参加費: 無料

託 児: あり(1週間前までに要予約)



子育てリフレッシュサロン

◆2月9日(木) 10:00～11:30

場 所: 参画センター学習研修室 3

参加費: 無料

託 児: あり(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆2月18日(土) 13:30～15:00

場 所: 参画センター相談室

参加費: 無料



知ってる？

男女共同参画のキーワード

<国際女性会議 WAW!>

国際女性会議 WAW!を知っていますか？

WAW!は、World Assembly for Women の略称で、「ワウ！」と呼ばれています。WAW!には、世界の様々な地域、国際機関から女性分野で活躍するトップ・リーダーが参加し、日本及び世界における女性のエンパワーメント、女性の活躍促進のための取組について議論を行います。この会議は、日本政府の最重要課題の1つであるジェンダー平等と女性のエンパワーメントを国内外で実現するための取組の一環として2014年から開催している国際会議であり、今回が6回目の開催です。

12月3日、国際女性会議 WAW!2022 をハイブリッド形式で開催しました。今回のWAW!は「WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化」をメイン・テーマに、あらゆる政策にジェンダーの視点を取り入れる観点から、幅広く議論しました。

冒頭、岸田総理から、女性の経済的自立は、新しい資本主義の中核であり、誰もが生き生きと暮らせる社会を実現するには、女性の立場からの視点を制度や政策に反映することが欠かせないこと、そのためにもジェンダー主流化を取り入れた成長と分配の好循環を推し進めてきたことが述べられました。

2月さんかく交流サロン

「手話で自己紹介してみよう！」

◆2月16日(木) 13:30～15:00

講 師: 菅谷加菜子さん

(手話サークルひびき代表)

場 所: 参画センター学習研修室 1・2

参加費: 無料

定 員: 10人程度



国際女性デー2023高松

「『国際女性デー』周囲の女性と自分をいたわる日にしよう！そのために一歩を踏み出そう！」

◆3月8日(水) 10:00～11:30

ファシリテーター&コーディネーター:

岡内 須美子さん

(日本BPW 香川クラブ代表)

場 所: 参画センター学習研修室 1・2・3

定 員: 40名程度 参加費: 無料

託 児: あり。無料、1週間前にまでに要予約

(生後6ヶ月～就学前の子ども)

申し込み先: 参画センター ☎087-833-2282 まで



基調講演では、ヨハネソン・アイスランド大統領から、ジェンダー平等は、社会の全てに裨益(ひえき)し、職場の反映や国家の競争力にも繋がるものであること、また、必要なのは変化を引き起こす意志であることが述べられました。また、パフス国連女性機関(UN Women)事務局長から、世界ではジェンダーに基づく暴力により、11分に1人が命を落としている現状が紹介され、そうした中で、女性に対する暴力の撲滅のために行動を起こすべきとの強いメッセージが寄せられました。

WAW! 専用サイトから視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。(下のQRコードから)



(資料: 内閣府「共同参画1月号」)

1月の行事から

1/13

こころとからだの健康講座 免疫力をつける 麹で腸活発酵のくらし

参加者: 16人 学習研修室 1・2・3

講師: 鎌野雅子(センター職員・栄養士・上級麹士・管理栄養士・公認心理師)

コロナ禍で発酵食品、発酵に関心が高まっている。手軽に日常に取り入れてもらえるように、麹や発酵の良さを学んだ。(参加者の感想)「子ども、家族のための健康な体作りに今まで以上に麹を沢山使って食事に取り組んでいきたい」「麹に沢山のバリエーションがあるのを知って良かった」等。



1/14

市民企画講座 アディクション問題を抱える家族支援 —子どもの未来へ—

参加者: 27人 学習研修室 1・2・3

講師: 橋本美香さん(高松家庭裁判所医務室技官・精神科医) 企画運営: AKK かがわ 後藤見知子(記)

依存症は、もはや身近な問題として取り組むべき問題だと思う。体験発表を聞いて、問題の視点が見つかり鏡になったと考える。発表者自身も、これまでは孤立していたが、皆さんたちと「繋がった」感を抱くことができたのではと感じている。依存症の支援は地域の問題として繋がっていくことだと考える。



1/19

さんかく交流サロン 手話を初めてやってみよう！

参加者: 11人 場所: 学習研修室 1・2

講師: 菅谷加菜子さん(手話サークルひびき代表)) 手話の基本を学んだ。最初是指文字で自分の名前が出来るように覚えて、自己紹介をした。次に、手話の挨拶、よく使う単語、数字などを教えてもらった。折り紙で干支のウサギのお雛様を作り、「うれしいひなまつり」を手話をしながら歌った。(参加者の感想)「全く初めてでしたが、興味深く学びました」「丁寧に良かったです。家でも練習したいです」等



1/20

防災力アップ講座 災害ボランティアで見てきた被災地 —私たちにできること—

参加者: 13人 場所: 学習研修室 1・2・3

講師: 藤井節子さん(東北ボランティア有志の会香川代表) (参加者の感想)「震災当時の様子やボランティア活動の様子がよくわかりました」「とても考えさせられる講座でした。他人事にせず、自分にできることは何かを考えて、小さくてもいいから何か行動に移していきたいです」「近いうちに来る南海地震への備え、覚悟を真剣に考え、準備しておかなくてはいいけないと、強く思いました」等。



トピックス

人生100年時代の生き方講座

男女共同参画キャッチフレーズ募集

<人生100年時代の生き方講座>

「人生100年時代 考えたい！生き方とまちづくり」

とき: 1月26日(木) 13:30～15:00

今回は、オンライン講座で樋口恵子さんに講師をお願いしました。当日は、最初に録画で講義を視聴し、質疑応答の時間はオンラインで、直接講師とお話をしました。

「平均寿命は女性の方が長い、非健康寿命も女性の方が長い。講師の言う『ヨタヘロ期』が長いということ。健康寿命を延ばすには、栄養、運動、交流を大事にすること。家族や親戚も大事だが、何かあった時には、隣近所の親しい人をお願いしていくといい。また、85歳以上の女性の栄養状態が良くない。特に1人だと欠食になる。少し無理してでも1日最低2食は食べるようにしたい。人間動かないと動けなくなる。ぜひ、動いて下さい！そして、弱者への変容を受け入れてください」とおっしゃった。

(参加者の感想)

「90歳のリアルな話が聞けて光栄です。1人ひとりが健康寿命を延ばしていくのが大切だと痛感。今日から生活を見直そうと思います」「先生が強調された栄養、運動、交流がとても大事だと思いました」等。



<男女共同参画週間キャッチフレーズ募集について>

男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進に向けた、日本国内、国際社会へのメッセージ。世界からの注目が集まるこの機会に、これからの時代を創り上げていくユース世代(15～20歳)の皆さんから、日本国内そして国際社会に向けたメッセージとなるキャッチフレーズを募集します。

1. 応募資格 ユース世代(15～20歳)

(平成15年(2003年)4月2日から平成21年(2009年)4月1日生)であればなたでも応募できます。

ただし、応募作品は未発表の自作のものに限ります。

2. 応募期間 令和5年1月10日(火)～同年2月24日(金)

3. 応募方法 内閣府共同参画局のホームページ

令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ募集の応募フォームで入力後、送信してください。

⇐ QRコードからご確認下さい。

